

令和 6 年 7 月 14 日

＜佐々木 朗＞

令和 6 年度 J A R L 渡島檜山支部発行計画~~（案）~~

1 目的

支部及び会員の活動状況の情報発信をすることにより、支部会員のアマチュア無線に対する士気を高めるとともに、支部の活性化、会員の親睦を深めることを目的とする。支部の活動を内外に P R する一つの機会とする。また、支部結成 50 周年の記念誌を発行する場合、あまりよくばらない内容で編集したい。

また、支部と会員の唯一のつながりになっている方もいることから、全員に目に触れていただくように努める。

2 支部報編集委員

編集長 J H 8 C B H 副編集長 ()

編集委員 () ()

3 配布に関わって

(1) インターネットでのダウンロード(現在 61 名)を原則とするが、希望する会員には郵送(現在 10 名)する。

(2) 紙で上記の(10 部)をはじめ、ハムセンター(20 部)、ドリームレディオシステム(20 部)、関係機関への送付(20 部)・保存(10 部)とする。
合計 80 部。また、機会を見つけて配布するために 30 部ほど印刷しておく。合計印刷は 110 部

4 推進計画

7 月 14 日(日)	提案、編集者決定
7 月	第 1 回編集会議
7 月	原稿依頼開始、広告主募集
8 月 10 日(土)	原稿集約終了
8 月	第 2 回支部役員会(進捗状況報告)
8 月 20 日まで	校正完了
8 月	印刷開始、封筒作成
9 月 1 日(日)	支部報発行 発送、ショップに届け、反省会議

5 内容及

(1) ページの割り付け

- 1P 支部大会のご案内 ()
- 2P 支部長挨拶 ()
- 3P・4P JARL 会長 北海道地方本部長あいさつ
- 5P・6P 支部運営方針の概略 ()
- 7P・8P 支部役員紹介 ()
- 9P・10P 令和 5 年度支部事業・決算報告 ()
- 11P・12P 令和年度の活動・予算の報告 ()
- 13P 監査指導委員会より ()
- 14P 令和 6 年度第 22 回津軽海峡コンテスト結果 ()
- 15P～16P 青少年のための科学の祭典速報 ()
- ~~17P～18P 各局短信 () 編集後記 ()~~

支部結成 50 周年誌に重点をかけるため、コンパクト化を図る。

- ・各局短信は最近の活動状況でハムに関わる事項、また遠ざかりつつある方は今がんばっていることなど一言 50～100 字程度。短くたくさんを目指す。
- ・スペースを見ながら、アムール、ドリーム、他の広告を入れる。
- ・ページ数については一応の目安とし、増減は可能とする。ただし、ページ数は 4 の倍数 (A3 用紙のみで間に合う)、4 の倍数を除く 2 の倍数であれば、真ん中に A4 を一枚挟むことになる

(2) 1 ページの文字数 標準として 40 文字×40 程度とする。

(3) 紙面編集・印刷製本

原稿は、テキストでもワードでもエクセルでも構わない。手書きの場合は担当で電子化する。

写真については、特に形式は問わない。紙にプリントしたものでも OK。
紙資料についてはスキャンする。

(4) 原稿の送付先 (佐々木)

(5) 紙面編集 ()

ワードにより体裁を整え、紙面を作成する。最終的には PDF にする。

(6) 校正 全編集委員で校正を行う。

(7) 印刷 (佐々木) インク継ぎ足し方式のプリンタのためコストは安い。

インクは、一セット 5,000 円程度予算化する。

(8) 発送 郵送 () () 配達・ハムショップ () ()

6 予算

A 3 を二締め	1,000 円
インク代	5,000 円
発送費	8,000 円
封筒	500 円
予備費	500 円
合計	15,000 円

※広告収入（一件 3,000 円をめど）を充て、支部費支出を抑える。

7 留意事項

会員に支部を活性化させていくためには、支部報が大切な位置づけであることを話し、原稿執筆、決められた期間での提出をお願いする。

また、原稿依頼の時、趣旨を損ねない程度に加筆修正させてもらうことのできることを得る。

各局短信については、積極的に依頼し、アイボールでの取材、聞き取りなども可とする。